



きょうと 京図

ものがたり

特集

開館40周年 中央図書館のここがすごい!
バリアフリーかるた



特集

[図書館の特色紹介]

中央図書館

その他のページ

- 図書館の本棚から 司書がすすめるこの1冊 5
- あなたの知らない図書館 予約資料が届くまで 6
- レファレンスこぼれ話 7
- 【図書館からの声】 読んでほしい! for Teens 8

※表紙：開館40周年を迎えた中央図書館／閲覧席で来館者を見守る「しろくま」

あなたの好奇心に応える

vol.54

令和3年8月発行

中央図書館の ここがすごい! バリアフリーかるた



中央図書館は、京都市最初の図書館として昭和56年(1981)に開館し、今年40周年を迎えました。京都市図書館におけるバリアフリーの拠点として、どなたにもご利用いただける身近な図書館をめざしています。

今回は「かるた」の形で、バリアフリーについての様々な資料やイベントをご紹介します。



ちゅ サピエとデイジー

「サピエ」は、視覚などの障害がある方を対象に、様々な情報を提供するサービスです。中央図書館は、サピエ加盟館として活字図書の利用が困難な方のために、音声や文字画像などを収録した「デイジー図書」の貸出を行っています。

※サピエ…「知識」を表すラテン語Sapientiaから
※デイジー (DAISY)…Digital Accessible Information System の略



う 布絵本

布絵本作家・大江委久子さんのご指導で、ボランティアさんが手づくりする「布絵本」。柔らかな手触りと好奇心を刺激する楽しいしあいで、文字を読まなくても楽しめます。



お 洋書コーナー

話題の名作を原文や英文翻訳で読むことのできる洋書や、外国語絵本を数多くそろえています。「多言語おたのしみ会」では、学生の皆さんが外国の絵本や文化を紹介してくれます。

おすすめは原書でトライ!



う 音読教室

古今東西の名作を読む「音読教室」。令和2年はオンラインで実施しました。地域の方々のふれあいや、声を合わせる爽快感など、幅広くお楽しみいただいています。

うれしいなあたまいきいき



と みんなの読みたい!

でこぼこの点で文字を表し、指で触って読む「点字図書」。大きな文字で読みやすい「大活字本」。絵や写真、やさしい文章といった工夫がされている「LLブック」。文字の拡大・白黒反転が簡単にできる「拡大読書器」。「読みたい」をかなえる、様々な図書や機器をご用意しています。

し 在宅貸出

身体の障害などで来館が困難な方のために、ご自宅まで資料を配送するサービスを行っています。

詳細を聞きたい知りたい



かん 中西進館長

日本を代表する国文学者であり、万葉学研究の第一人者として、90歳を超えてなお活躍中。数多くの要職を歴任し、我が国の学術文化の発展に多大な貢献をしています。また、文化を基軸とした京都のまちづくりに大きく寄与した「京都市名誉市民」でもあります。

蔵書冊数
開館時(昭和56年度):124,631冊
現在(令和元年度):292,934冊

貸出冊数
開館時(昭和56年度):508,698冊
現在(令和元年度):723,415冊

次のページでは、中央図書館の成人・児童・参考図書室の特色をご紹介します!

中央図書館のあゆみ バリアフリーを中心に



図書館の 特色紹介

2階 参考図書室

調べものに必要な資料を探すお手伝い「レファレンスサービス」をしています。

風通しの良い落ち着いた環境で、調べものや読書を楽しめるね。



★郷土資料・参考図書コーナー

郷土資料、全国の地形図や電話帳、事典・辞書など、調べものに心強い味方となる資料をたくさん取り揃えています。

新聞記事や雑誌記事・各種辞書などを検索できる「オンラインデータベース」もご利用いただけます。



★レファレンスカウンター

図書館の利用方法や本棚の案内はもちろん、「PTAの挨拶の例文が見たい」、「和菓子の名前の由来を調べたい」といった様々な質問にお答えしています。

料理のレシピ探しから、近くの神社の由緒まで、お気軽にご相談ください。

参考図書室

2階 成人図書室

小説はもちろん、旅行ガイドブックや料理本、学術書など、生活に役立つ一般図書がたくさん。大活字本、パソコン関連本などのコーナーもあります。

なかでも、「ティーンズコーナー」と「洋書コーナー」は人気のコーナーだね！



★ティーンズコーナー

進路や将来の仕事、生き方に悩んだり迷ったりしたとき、皆さんを応援する本が多数並んでいます。シリーズを読破したくなる「ライトノベル」などもあり、ティーンズはもちろん、大人にも好評のスペースです。



★洋書コーナー

辞書を片手に洋書にチャレンジしてみませんか？本好きを自負する方、「原書で名文を味わってみたい！」と日頃感じている方へのおすすめは「洋書コーナー」です。じっくり著者の言葉を味わう贅沢な時間をお過ごしください。

原書の他にも、英語に訳された日本の名著などの洋書を200冊以上用意しています。



成人図書室

1階 児童図書室

児童図書室

出入口

京都市図書館全館の児童サービスの拠点として、子どもと本を結ぶ役割を担っているんだ。



★豊富な蔵書

児童向けの資料を約8万冊所蔵。大型絵本や布絵本、外国語で書かれた絵本もあります。



★「としょかんまるごとファイル」

図書館をもっと便利に、楽しんで利用していただけるよう、開館40周年を記念して作成しました。

読んだ本や予約した本が記録できるページ、図書館の案内ページを組み合わせ、自分だけのファイルを作りませんか？ページは種類がたくさんあります。

ぜひ来館してご覧ください。



★楽しい企画がもりだくさん

毎月の「おたのしみ会」のほか、子ども読書の日や夏休み、古典の日などには特別行事として、「工作・実験教室」「福袋」「シールラリー」といった楽しい企画を実施。

特に好評の赤ちゃん絵本の会「おひざにだっこ」では、絵本や手遊びを赤ちゃんと一緒に楽しんでもらうとともに、子育て中の方の交流の場にもなっています。



中央図書館は令和3年、開館40周年を迎えました！

京都市中央図書館

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2

TEL 075-802-3133 FAX 075-812-5816 市バス「丸太町七本松」下車



図書館の本棚から

司書がすすめる

この

1冊

『ミミズクと夜の王』



紅玉 いづき／著
KADOKAWA／電撃文庫

不器用で、少しどこか欠けていて、けれどまっすぐで不思議な魅力をもつ、ひとりの“ミミズク”のおとぎ話。
自分が自分のまま、前を向くための力を分け与えてくれる一冊です。

「白状します。泣きました。奇をてらわないこのまっすぐさに負けた。チクショー。」

巻末にある解説の言葉です。解説を書いた、つまり物語を読んで泣いたのは、『図書館戦争』などで有名な作家、有川ひろさんです。

ライトノベルで有名な第13回電撃小説大賞の〈大賞〉を受賞したこの作品。物語は、“ミミズク”と名乗る女の子が、夜の森の魔物の王に「あたしを食べて」とねだるところから幕を開けます。「人間のところに帰れ」と言う王に、彼女はなおも言います。

「ミミズクは人間じゃなくて、ミミズクだよ。だから食べてよ、お願いだよ」

どうして彼女は、そんなことを言い出したのでしょうか。そして、王はどう結論を出すのでしょうか。不思議な出会いからはじまる物語は、たくさんの人を巻き込んで、新しい未来を掴みます。

この作品の魅力のひとつは、あたたかく愛情豊かな登場人物たち。ときに不器用でわかりにくい彼らのやさしさを、読み手に教えてくれるのは、傷つきながらも明るく笑い、相手への好意を屈託なく示すミミズクです。読み終えた後に残る愛おしい感覚に、何度泣いたか分かりません。

“ライトノベル、魔物、ミミズクの発言”といった要素に戸惑った方も、どうか第一章だけ(34ページまで)でも読んでみてください。つらくしんどいことに出会っても、「たいしたことじゃあないわ」と前を向いて進む力がわいてくるはずです。

(F)

あなたの知らない図書館

Vol.5

予約資料が届くまで

読みたい本が本棚に見あたらないときに**予約**をすると、数日後に他の図書館の本が届くことがよくあります。これは、京都市図書館全館がコンピュータネットワーク「京・ライブラリーネット」で結ばれていて、利用可能な本がある図書館から、受け取りを希望する図書館に届けられるからです。

今回は、予約した本や雑誌・CD・DVDがどのようにしてみなさんのところへ届くのか、図書館の裏側をご紹介します。

① 予約を受け付ける

予約は、ホームページ・来館・郵送で受け付けています。

まだ本棚でおやすみ中…



② 予約資料を集める

前日までに予約された資料を、全館で分担して、本棚から集めます。予約資料が多い日は、職員総出で行います。

予約が入ったよ!



③ 1点ずつコンピュータ処理

予約資料のバーコードを読み取り、1点1点コンピュータ処理していきます。

予約者名のレシートが出たら、予約者に連絡をして(⑤)、予約棚に並べます。受取館名のレシートが出たら、さらにコンピュータ処理し、行先別に袋詰めをします。毎日運行する「ブックメール」に積み込んで出発!



バーコードをピッ!としてね



④ 受取館に予約資料が届く

予約資料が届いたら、すべて袋から出し、また1点1点コンピュータ処理をします。予約者名のレシートを出して、間違いの無いように仕分けします。



この人に借りてもらうのか〜



次に待っている人がいるよ!

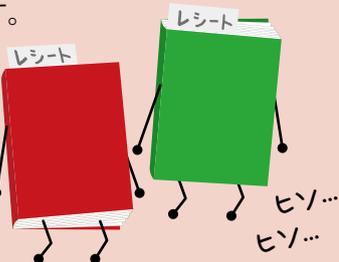


次の図書館へ…

⑤ 連絡をする

連絡をご希望の方に、メール・電話・FAXなどで、予約資料をご用意できたことをお知らせします。

きみはどこ図書館から来たの?



⑥ 貸出する

いきます! 返却予定日までに帰ってくるね!



期限切れ

取り置き期間が過ぎてしまった予約資料は、また1点1点コンピュータ処理してから、次の予約者が待つ図書館へ届けたり、元の図書館へ送り返します。

1週間待っていたのに借りてもらえなかった…





～あなたの知りたいにおこたえます!～

レファレンスとは、みなさんからの質問・相談を受けて、調べものに必要な資料を探すお手伝いをする事です。このコーナーでは、京都市図書館の調べものを担当する右京中央図書館の司書がレファレンスについてのエピソードを紹介します。

レファレンスは、各図書館のカウンター窓口・電話・郵便で受け付けています。京都に関することならホームページでも受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

男の子だから、女の子だからって決めないで

夏のある日のことです。6,7歳くらいのお子さんとお父さんがレファレンスデスクへお越しになり「子ども向けの“男女平等”の本はありますか」と尋ねられました。

この子が一人で読めるようにかな、と思いつつ、もう少し詳しくお話をうかがいます。

すると、お父さんが困ったように、「最近、誰かから“男女平等”という言葉聞いたようで、どう説明しようかと思って…。“男の子だから、女の子だから”と決めつけないでいいんだよ、ということがわかる本で探していたら、“男の子みたいな名前が嫌い”という絵本で『しげちゃん』を見つけたんです。他にもないでしょうか。教科書的なものよりも絵本がいいんですが、うまく見つけられなくて」とおっしゃいました。

絵本を探す場合は、タイトルから内容を推測するのが難しいことも多く、一筋縄ではいきません。“男女平等”を

キーワードに児童書を検索したり、絵本をテーマ別に紹介している事典からも探してみましたが、なかなか見つかりません。

さあ困った、何か他に探せる方法はないかと考えた時、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築する調べ物のためのウェブサイト[レファレンス協同データベース]を思い出しました。男女共同参画関連の専門図書館も参加しているので、きっと役に立つ情報があるはずです。“ジェンダー 絵本”, “男女共同参画 絵本”で検索してみると、“赤いランドセルをもらった男の子”のお話『ますだくんのランドセル』と、ブックガイド『ジェンダー・フリーで楽しむこどもと大人の絵本の時間』が紹介されています。

『ますだくんのランドセル』は絵本の棚にあり、手渡してご覧いただくと、お父さんはほっとされました。ブック

ガイドから自身で探せることも嬉しそうな様子です。お子さんの質問に真摯に向き合われる姿に、温かい気持ちになったレファレンスでした。



【参考文献】

- 『しげちゃん』室井 滋／作 長谷川 義史／絵 金の星社 2011
- 『ますだくんのランドセル』武田 美穂／作・絵 ポプラ社 1995



- 『ジェンダー・フリーで楽しむこどもと大人の絵本の時間』草谷 桂子／著 学陽書房 2002



「読んでほしい! for Teens」

京都市図書館では、ティーンズのみなさんのために本を集めたコーナーや、「ティーンズレター(図書館だより)」を作って、読書の楽しさをお伝えしています。

今回は、図書館職員が「ぜひ読んでほしい!」と思う本をご紹介します。いろんな悩みと向き合いつつ、居場所を見つけたり、物流の醍醐味に触れてみたり、お気に入りの一冊を見つけてみませんか。

『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』

10代のどうでもよくない悩みに作家が言葉で向き合ってみた! 日本ペンクラブ/編(ポプラ社)

人はいくつになっても悩みが尽きません。相談するにも悩めます。そんな時、本はヒントを与えてくれます。

悩み相談に答える本は、1人が全てに答えるものが多いですが、この本は1人の悩みに2人が答えるので、様々な目線のアドバイスを貰えます。

早速、「このタイトルの意味って何だろう?」と悩んでいます。ぜひ教えてください。(Y)



『麒麟の運びかた、教えます』

岩貞みこ/文, たら子/絵(講談社)

私たちの暮らしは物流に支えられています。あらゆるものが運ばれてきて“そこ”にあるのです。中には少し変わったものも。岩手から東京まで麒麟を運ぶには!? 山口県からイギリスへ866両もの鉄道車両を運んだり、こども病院をまるごと引っ越ししたり。

「安全に運ぶ」ことは「当たり前」のこと。その当たり前のために、積み重ねてきた経験を駆使し、何度も試行錯誤を重ねる。そこにはプロとしての誇りと責任がありました。(W)



『僕僕先生』

仁木 英之/著(新潮社)

中国の唐の時代、裕福な官僚の家に生まれた王弁は、何事にも興味が持てず、毎日ぐうたら過ごしていた。ひよんなことから、僕僕と名乗る少女姿の仙人の弟子となり、共に旅に出ることに…。

仙人らしく掴み所がないのに、時折少女のような行動を見せる僕僕と、道中で何度も不思議なことに巻き込まれ、少しのことでは動じなくなった王弁。そんな師弟のほのぼのとした旅の物語の第一弾。最後まで読めば、続きが気になること間違いなし。(H)



『サード・プレイス』

ささきあり/作, 酒井以/絵(フレーベル館)

学校にいるときの自分、家にいるときの自分、ひとりでのいるときの自分。一番安心できるのはどの自分ですか?

中高生の6年間だけ利用できる施設「サブリガーデン」は、家でも学校でもできないことが「自由」にできる場所。主人公4人がそこを訪れるきっかけは様々ですが、ただ好きなことや、やりたいことと向き合う時間を通して、自分を大切にできる居場所を見つけます。ファーストともセカンドとも違う、サード・プレイスの物語。

(K)



『きみの町で』

重松 清/著, ミロコマチコ/絵(朝日出版社)

とある満員電車で座る僕の目の前に、おばあさんが2人立っている。席を譲ろうか迷う僕。いや、僕にだって座る権利はある…。

世の中という電車に揺られ、数え切れない正しさがすれ違ったりぶつかり合ったり…。人生は悩ましい。そんな複雑な気持ちに焦点を当てた、8つの哲学の物語。哲学と聞くと難しそうイメージを受けますが、「生きることを好きになるためのヒント」と著者は言います。そんなヒントが詰まった一冊です。(H)



京図ものがたり vol.54

発行 令和3年8月

編集・発行

(公財)京都市生涯学習振興財団 財団本部総務課企画係

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2

TEL 075-802-3145



●京都市図書館ホームページ
<https://www2.kyotocitylib.jp/>

●携帯サイト <http://www.kyotocitylib.jp/i/>

●公式Twitter @KyotoCityLib



紙の貸出券

編集◆集◆後◆記
昭和56年に京都市図書館条例が施行され、中央図書館をはじめ次々と図書館が誕生しました。当時は、借りる冊数分、紙の貸出券を図書館に預ける方法が主流でした(ご存知ですか?)。全館オンライン化を開始したのは平成9年。その後インターネットから蔵書検索や予約ができるようになり、環境は大きく変化しました。40年間変わらないのは、京都市図書館に、あなたの「読みたい」「知りたい」を支える司書がいることです。これからもどうぞご利用ください。(Y)

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「子どもと共に育む京都市民意識」を実践しましょう!



地球環境を守るため、できる限り市バス・地下鉄等をご利用ください。